



冬休みにしてほしいこと、それは・・・

今年一年を振り返って、日本漢字検定協会が今年の漢字一字を発表しています。興味をもってこのニュースを見た人もいそうですね。今年の漢字は「金」でした。やはり東京オリンピック・パラリンピックの印象が強く残る一年だったということでしょうか。ちなみに生徒のみなさんが生まれた2006年～2009年は「命」「偽」「変」「新」でした。みなさんの今年を象徴する一字は何でしょうか？

2学期が終わろうとしています。毎朝の登校の様子を見ていると生徒のみなさんが4月からずいぶん成長したと感じます。身体の成長はもちろん、たくさんを経験し、感じ、考え、行動する中で内面も一回り、二回りと大きくなっているのでしょうか。少し大人の顔になってきました。



ところでこの2学期は、何に「挑戦」できたでしょうか？ 日々の学習に前向きに取り組めたでしょうか？ 毎日の生活はリズムをつくりながら明るく送れたでしょうか？ 行事や生徒会活動、部活動を頑張れたでしょうか？ そして仲間のために、誰かのために力を発揮できたでしょうか？

これを頑張った、努力した、一生懸命考えた、考えを行動にうつした、取り組んでみた、そういったものが頭をよぎるでしょうか。みなさんを見ていると、いろいろな学びを得て充実した2学期だったに違いないと確信しています。



もう一度この2学期をよく振り返ってみてください。授業と同じで、きちんと振り返って歩みを確かめることで、次に自分がやるべきことがわかります。

目標が その日その日を 支配する

松坂大輔

13日間の冬休みを迎えます。冬休みにしてほしいこと、それはこの2学期の振り返りから、新しい年の見通しをもつことです。そして3学期の具体的な目標を考えてみてください。当たり前のように言われているこのことを、きちんと実行してください。さらにその目標が達成できた姿を何度もイメージしてみてください。しっかりイメージできた目標は、必ず達成できます！

元旦という大きな節目を迎える冬休みです。今年を振り返り、新しい年に向かい、しっかり目標をもち、気持ちを新たに新年を迎えてほしいと思います。そして、また元気で3学期に会いましょう。

明日の北東中に向けて

12月8日(水) 生徒会役員選挙 立ち会い演説会が行われました。生徒会役員に立候補した8名とその責任者がステージから全校生徒に向けて熱く公約を投げかけました。

公約や方法はそれぞれですが、全員の候補者が次の北東中のことを真剣に考え、堂々と表明する姿は胸を打つものがありました。すべての候補者にリーダーとなる資質を感じました。

そしてこの日に至るまで、2年生の各クラスでは一丸となって候補者を支え、応援してきました。リーダーとフォロワーが一体となって展開する生徒会活動です。全員が主体的に取り組んでいけるに違いないと思いました。



また12月17日(金)に1年生も学年代表を決める立ち会い演説会を実施しました。明日の北東中に向けて始動した1、2年生。きっと来年度、北東中をさらに高め、盛り上げていってくれるに違いないと確信しました。

ようこそ北東中へ ～新紺屋小学校のみなさん

12月15日(水) 新紺屋小6年生のみなさんが本校を訪れ、学校見学をしました。校長の話の後、まずは校内巡り。特別教室などの説明を受けながら、各学年のフロアを見て歩きました。本校生徒はちょうど6校時の授業中。初々しい後輩候補?たちに笑顔を向けていました。体育館に戻った後は新紺屋小出身の1年生代表が学校生活の紹介を行いました。

後半は部活動見学。小学生のみなさんは文化部、運動部の1・2年生が活動する様子を興味深く参観していました。北東中の一員としてともに学ぶ日を楽しみにしています!



復活! 北口清掃

12月4日(土)、午前7時から北東中伝統の『北口清掃』を実施しました。

学区である甲府駅北口を中心に街をきれいにしようと平成4年に始まったこの清掃活動は、生徒の自主的なボランティア活動として30年近く続いている本校の特色ある取組の一つです。今回はコロナ禍の影響から約2年ぶりの実施となりました。また密を避けるため3学年のみの参加としました。



(H17年度)



(H23年度)



(H24年度)



(H27年度)



(R3年度)

北口清掃 表彰の軌跡



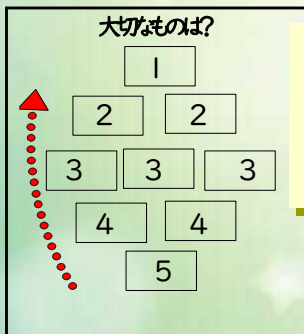
生徒達は歴史公園周辺に散らばって和気あいあいと、ゴミを拾ったり落ち葉を集めたり、水路をデッキブラシでこすったりしていました。地域貢献を体感すると同時に心も清々しくなるのを感じました。



先生たちも勉強、勉強!



就職するとき大切だと考える順にランキングして1~5位に置いてください



年収 安定した雇用
やりがい 快適な環境
休日の数 人間関係
勤務場所 職種
特技が生かせる

12月13日(月) 法政大学准教授の辻本昭彦先生をお招きし、校内研究会を開きました。

最初に取り組んだワークショップは、例えば左図のような“ダイヤモンドランキング”です。グループで話し合っ決定し、他のグループと交流します。コミュニケーションをとりながら意見交換をするのです。これを今回の校内研修では「なぜ評価するのか?」というテーマで行いました。

辻本先生は新学習指導要領で示されている新しい学びについて大変造詣が深く、また長く OPPA(1枚ポートフォリオ評価)の研究に関わり、山梨県の教員研修にも携わってこられた先生です。東京都立中学校教諭のご経験があり、私たちの現場の様子をふまえてお話を進めてくださいました。

2つのワークショップの後、熱い講演を拝聴しましたが、私たちの日頃の授業実践をあらためて振り返り、改善に向けて取り組んでいこうという思いを抱くことができる、大変勉強になる内容でした。



研究会が終わった後も何人かの先生たちは熱心に質疑応答をお願いしていました。また職員室では講演内容について、会話が飛び交っていました。



生徒の深い学びにつながるような授業改善に向けて、北東中は頑張ります!